

科目名 (科目番号)		運動器障害基礎 理学療法学Ⅱ (時間割参照)	教員名 渡邊 昌宏 他	学科等	理学療法	必修	履修年次	2	
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1	
				授業形態	講義	オフィスアワー	火3・A317研究室		
授業概要		運動器障害の理学療法で扱う対象疾患の概要を学習する。また、理学療法を行う上での考え方、進め方、リスク管理について理解する。加えて、運動器障害で扱う物理療法や疼痛の制御に対するアプローチ、義肢装具、自助具、杖を含む移動補助具等の基礎的な知識を理解する。							
目的・目標		目的:運動器疾患(整形外科疾患)の理学療法を学ぶ上で、評価、治療につながる基礎的な知識を理解する。 目標:①代表的な理学療法対象疾患の原因、症状、整形外科的治療法について理解できる。整形外科疾患の情報収集内容を理解できる。③義肢装具等の構造について理解できる。④物理療法の種類と効果について理解できる。 ⑤疼痛制御メカニズムについて理解できる。							
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授 業 計 画	回	授業項目		到達目標・学習内容					
	1	ガイダンス、整形外科疾患に対する理学療法		到達目標:運動器疾患の一般的な治療、理学療法の考え方を理解する。 学習内容:運動器障害に対する理学療法の考え方、進め方について理解する。					
	2	運動器障害に対する情報収集		到達目標:問診で確認すること、カルテや検査データで確認することを理解する。 学習内容:運動器障害を診る上で必要な情報収集の仕方について理解する。					
	3	運動器障害に対するリスク管理		到達目標:全身状態の管理、疾患自体に対する管理について理解する。 学習内容:運動器障害を診る上でのリスク管理について理解する。					
	4	物理療法		到達目標:物理療法の種類と効果について理解する。 学習内容:運動器疾患に用いる物理療法について学習する。					
	5	疼痛の理学療法総論		到達目標:疼痛のメカニズムと分類について理解する。 学習内容:運動器の疼痛と疼痛制御メカニズムについて学習する。					
	6	疼痛の理学療法評価と治療		到達目標:疼痛の評価法と治療の考え方について理解する。 学習内容:疼痛の評価法と治療・介入方法の概要を学習する。					
	7	義肢装具		到達目標:切断の原因、義肢装具の構造と種類について理解する。 学習内容:切断と義肢装具について学習する。					
	8	運動器障害の対象疾患		到達目標:代表疾患の一般的な症状について理解する。 学習内容:理学療法で扱う代表的な運動器疾患について学習する。					
成績評価の方法・基準		課題レポート(10%)、対面筆記試験(90%)で総合的に評価します。 課題レポートについては、最終講義でフィードバックします。							
教科書		指定なし、随時、資料を配付します。							
参考図書									
教員からのメッセージ		授業の進捗状況によっては内容を一部変更する場合があります。レポートはコメントを付して後日返却します。 科目内容について教育実績を有する医療施設(整形外科)などで勤務した教員がこの授業を担当します。オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知します。オンラインでの通信障害が発生した場合を考慮し、録画された授業を1週間公開いたします。							